

# 台湾2・28革命60周年記念大講演会

## 米国と中国の台湾政策を問う

中国が「国家分裂法」を制定して台湾併合をあからさまにし、毎年二桁代の国防予算を立ててアジア・太平洋における覇権確立への動きを顕在化させるなか、米国と日本の台湾政策はどうなっているのか？ そして台湾はどうしたらよいのか？ 60周年記念にふさわしく、米国・中国問題の専門家が徹底検証した結果を発表いたします。奮ってご参加ください。

台湾独立建国聯盟日本本部委員長 黄 文雄

日 時：2007年2月28日(水) 午後6時30分～(午後6時開場)

場 所：文京区民センター 3A

東京都文京区本郷4-15-14 TEL03-3814-6731(文京シビックセンター斜向い)

【交通】都営地下鉄：三田線・大江戸線「春日駅」徒歩1分

東京メトロ：丸ノ内線・南北線「後樂園駅」徒歩3分

JR総武中央線「水道橋駅」徒歩10分

会 費：1,000円

\*\*\*\*\* 概 要 \*\*\*\*\*

【報 告】「台湾の情勢はどうなっているのか」

【講 演】田久保忠衛 「米国と台湾 - その台湾政策」

たくぼ ただえ 昭和8年(1933年)、千葉県生まれ。早稲田大学卒業後、時事通信社に入社。ハンブルク特派員、那覇支局長、ワシントン支局長、外信部長、論説委員を経て、同59年(1984年)より杏林大学社会科学部教授。平成5年(1993年)博士号取得(法学博士)。同8年、第12回正論大賞受賞。主な著書に『カーター外交の本音』『日本の領土』『新しい日米同盟』など。外交評論家、杏林大学客員教授、日本李登輝友の会副会長、新しい歴史教科書をつくる会顧問。

平松 茂雄 「中国と台湾 - その台湾政策」

ひらまつ しげお 昭和11年(1936年)静岡県生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。同41年(1966年)同大学大学院博士課程単位取得退学、同61年(1986年)博士号取得(法学博士)。同42年(1967年)防衛研究所に入所し、第1研究部第3研究室長を経て、同62年(1987年)に杏林大学教授に就任し平成17年に辞任。主な著書に『台湾問題 - 中国と米国の軍事的確執』『中国の安全保障戦略』『中国は日本を併合する』『中国、核ミサイルの標的』など。中国軍事問題研究者。

【司 会】金 美齡(前総統府国策顧問)

主 催：台湾独立建国連盟日本本部(黄文雄委員長)

〒162-0067 東京都新宿区富久町8-24-3F Fax:03-3359-8475